

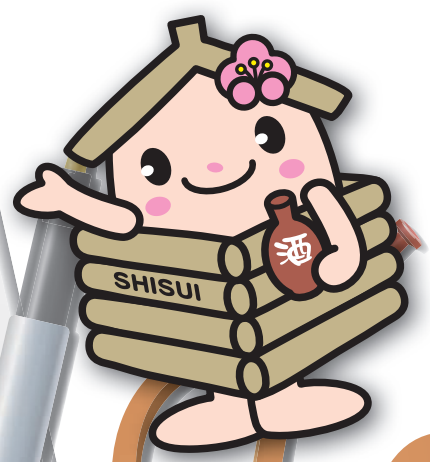
令和4年度

酒々井町下水道事業会計

損益計算書 貸借対照表

よくわかる 決算書

キャッシュ・フロー



酒々井町上下水道課

目次

1 決算書とは？	1
2 経営成績はどうだったの？	
まずは、損益計算書で入ってきたお金（収入）を見てみよう！	2
次に、使ったお金（支出）の内容を見てみよう！	3
損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！	4
「資本的支出」（＝損益計算書には載っていない支出）を見てみよう！	5
「資本的収入」（＝損益計算書には載っていない収入）を見てみよう！	6
「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！	7
減価償却費のイメージを見てみよう！	8
まとめ	9
3 留保資金の推移を見てみよう！	10
4 下水道事業が置かれている現状を見てみよう！	11
5 財務三表を読み解こう！	
【図解】損益計算書	12
【図解】貸借対照表	13
【図解】キャッシュ・フロー計算書	14

1 決算書とは？

酒々井町下水道事業では平成 26 年度から公営企業会計を導入しています。

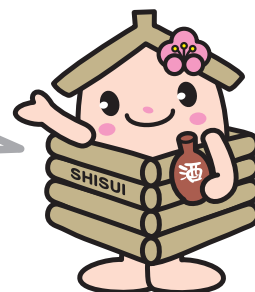
公営企業会計では民間企業のように複式簿記を使って記帳を行います。その記帳の内容を取りまとめたものが「決算書」になります。

決算書は、4月1日から翌年の3月31日までの1年間の経営成績と財政状態について、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書（財務三表と呼ばれます。）などの決算書類で表しています。

ただ、この書類は初めて見る人には少し難しい内容です。

そのため、使用者の皆さんに決算書に書かれていることを分かりやすくお伝えし、酒々井町の下水道事業がどのような状況なのかを少しでも知っていただけるよう決算書の概要版を作成しました。

決算書を見てみたけど、見慣れない言葉が多くてよく分からなかったよ～。

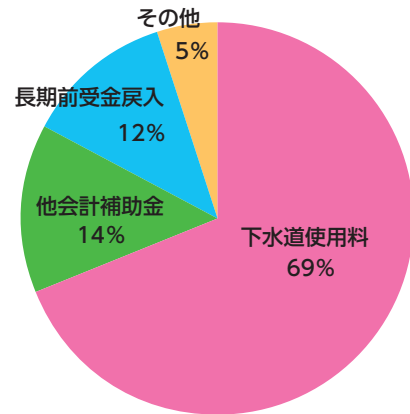


ぼくが決算書を分かりやすく説明するよ！

2 経営成績はどうだったの？

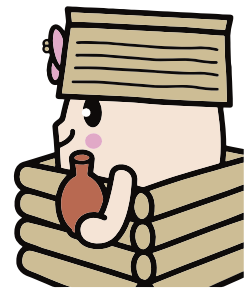
まずは損益計算書で、入ってきたお金（収入）を見てみよう！

収入（損益計算書）	（税抜）	
内容	金額（円）	割合（％）
下水道使用料	253,930,217	69%
他会計補助金	50,959,438	14%
長期前受金戻入	44,065,162	12%
その他	18,220,526	5%
合計	367,175,343	100%



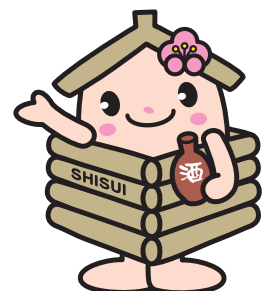
下水道事業は、みんなが払う「下水道使用料」で経営しているんだよ！！

あれ！？ でも…収入には、「下水道使用料」のほかに「他会計補助金」や「長期前受金戻入」ってあるね…これはなに？



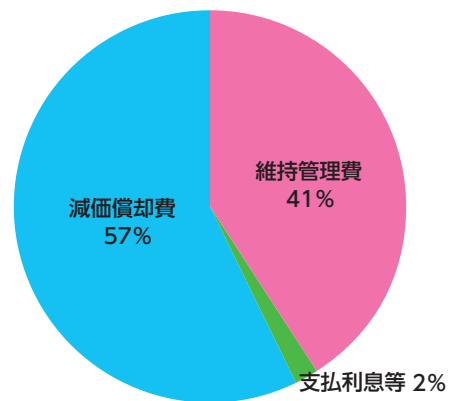
よく気が付いたね！
 下水道管には、みんなの家からの「汚水」と「雨水」が流れているんだ！！
 「汚水」の費用は、使った人が支払うんだけど、まちを水害から守る「雨水」のための費用は、酒々井町の「税金」で支払うというのがルールなんだよ！！
 雨水を排水するための施設の維持管理は下水道事業で行ってるから、「酒々井町」から「下水道事業会計」に支払われるんだ。それが「他会計補助金」だよ。
 「長期前受金戻入」は難しいから、もう少しあとで説明するね。

下水道には2種類あって、それぞれ「使っている人からの使用料」と「みんなからの税金」で賄っているんだね！

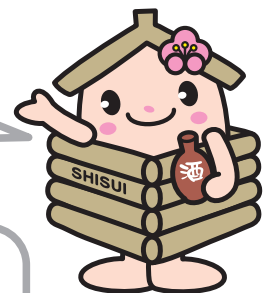


次に、使ったお金（支出）の内容を見てみよう！

内容	金額 (円)	割合 (%)
維持管理費	170,956,102	41%
支払利息等	9,466,714	2%
減価償却費	240,818,363	57%
合計	421,241,179	100%



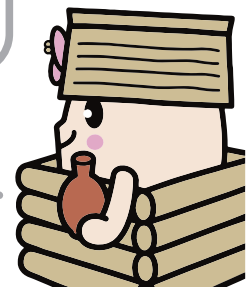
「維持管理費」って具体的には何なの？



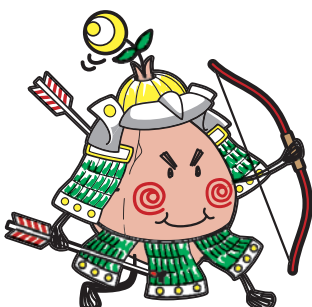
汚くなった水をきれいにする処理場（花見川終末処理場）や、みんなの家から処理場へ汚水を送るポンプ場の電気代や薬品費、汚泥の処分費などの費用や、下水道の仕事をしている職員の給料とかが「維持管理費」に含まれているよ！！



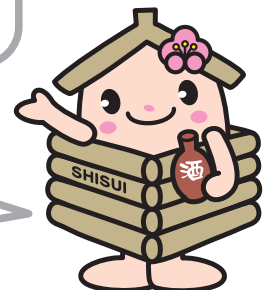
「支払利息等」って何？



下水道事業の施設を作るときに国の機関などから借り入れたお金の利息や国や地方の消費税の支払いもここに含まれるよ。



もう一つの「減価償却費」って、さっぱりわからないけど…



「減価償却費」は、「長期前受金戻入」とセットで考えると分かりやすいんだ。あとでまとめて説明するね！
まずは損益計算書から分かることを次のページで説明するね！

損益計算書の「収入」から「支出」を引いてみよう！

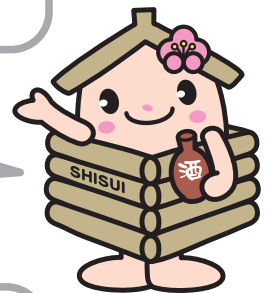
収入－支出＝純利益（純損失）

△ 54,065,836



約 5,400 万円のマイナスだね
「収入」から「支出」を引いたものがプラスだと「純利益」、マイナスだと「純損失」と呼ぶんだよ！黒字、赤字って言うと分かりやすいかな？
損益計算書から分かるのは、下水道事業が黒字だったか赤字だったかってことなんだ！

5,400 万円も赤字だと下水道事業の先々が心配だけど。

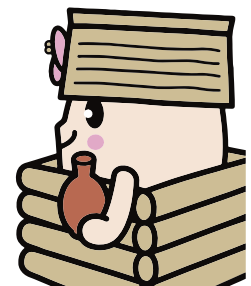


そうだね。実はこの他に損益計算書には載っていない「支出」がまだあるんだ…！！



損益計算書には、その1年の間にかかった費用を載せるって決まりがあるんだ！
たとえその年に支払った施設の建設費であっても、建設した施設は、その年だけじゃなく施設がある限りずっと使えるよね。
だから、その1年の間にかかった費用とは言えないから損益計算書の「支出」には載っていないんだ！
ちなみに、この損益計算書には載っていない支出のことを、「**資本的支出**」って呼ぶよ！！

急に難しくなったね…。
とにかく、施設の建設はその年のことだけじゃないから損益計算書には載っていないのね。



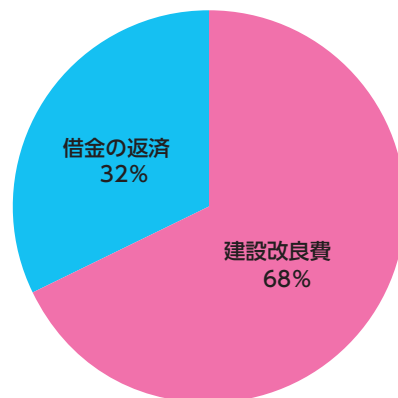
次のページで「資本的支出」について説明するね！！

「資本的支出」（＝損益計算書には載っていない支出）を見てみよう！

資本的支出（損益計算書に載っていない支出） (税抜)

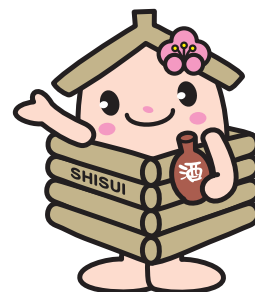
内容	金額 (円)	割合 (%)
建設改良費 (※)	127,478,411	68%
借金の返済	59,261,446	32%
合計	186,739,857	100%

※前年度からの繰り越し工事に係る支出を引いておりますので決算書の数値と一致しません。



建設改良費が施設の建設費のことだよ。
施設の建設には約1億3,000万円もかかっているんだ！！
あとは、施設を建設する時に借りた借金を返すお金も損益計算書には載っていないよ。

損益計算書に載っていない支出が2億円近くもあるのね…。
損益計算書で5,400万円もマイナスなうえにさらに2億円も支出があっては全く収入が足りていないということなの…？

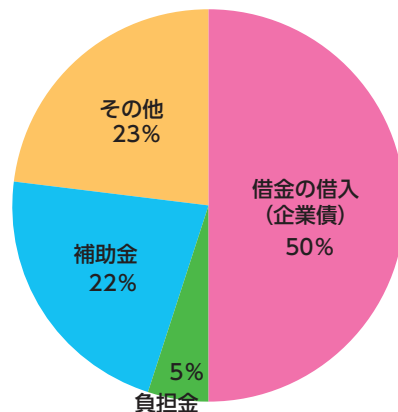


そこが心配なところなんだけど、施設の建設費が損益計算書に載っていないように、実は損益計算書に載っていない「収入」もあるんだよ。
施設の建設のために借りたりもらったりするお金なんだけど、これを「**資本的収入**」って呼んでるんだ！
「資本的収入」について、次のページで説明するね！

「資本的収入」（＝損益計算書には載っていない収入）を見てみよう！

資本的収入（損益計算書に載っていない収入） (税抜)

内容	金額 (円)	割合 (%)
借金の借入 (企業債)	36,000,000	50%
負担金 (※)	3,166,500	5%
補助金 (※)	16,405,000	22%
その他	16,417,000	23%
合計	71,988,500	100%

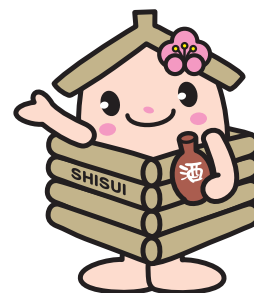


※消費税の計算上生じる雑支出や、来年度の繰り越し工事に係る収入を引いておりますので決算書の数値と一致しません。



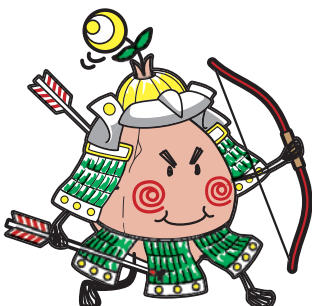
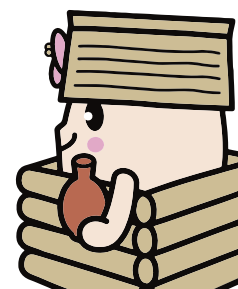
借金の借入れが大きいことが分かるね。
次に大きい補助金は、国からの補助金がほとんどなんだ。

国からの補助金ということは、ここでも税金が投入されているの？



その通り。補助金は税金だよ。
地震や浸水のような災害への対策はとってもお金が必要だから、
下水道使用料だけではなかなか進められないんだ。だから税金を
もらっているよ！

負担金についても教えて！



負担金には、新しく下水道を整備した地区に土地を持っている人
からもらっている「受益者負担金」や、雨水を排水する施設の建
設費に対する酒々井町からの負担金などが含まれているよ！
じゃあ最後に、損益計算書で純利益（純損失）を計算したように、
「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！

「資本的収入」から「資本的支出」を引いてみよう！

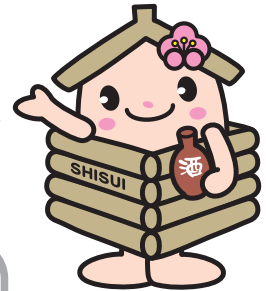
収入－支出（施設の建設）

△ 114,751,357

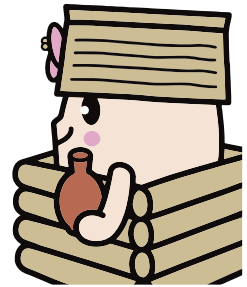
1億円以上の赤字？
いったいどうやって施設の建設をしているの…？



この赤字分も損益計算書の収入で補わなくちゃいけないんだ。



損益計算書の収入で補う…？いったいどうやって？
そもそも損益計算書は赤字となっていて充てる収入なんてないじゃない！！



そうだったね！

下水道使用料等の収入から維持管理費や減価償却費等の支出を引いた残りが純利益でなく純損出で赤字だったね。このままでは、にっちもさっちもいかない計算なんだけど…。

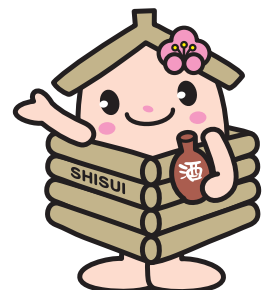
そこで問題なのが「減価償却費」と「長期前受金戻入」なんだ。

その年に支払った施設の建設費であっても、建設した施設は、その年だけじゃなく施設がある限りずっと使えるから、損益計算書の支出には載せないんだってね。その代わりに、建設費を施設が使える年数で割ることで、その1年の間にかかった費用を計算するんだ。これが「減価償却費」だよ！！

「長期前受金戻入」は、「減価償却費」の収入版で、施設の建設の際にもらった負担金や補助金を、その施設が使える年数で割って、その1年の間の収入を計算したものなんだ！



なんだか言葉だけではなかなか理解できないなあ…。

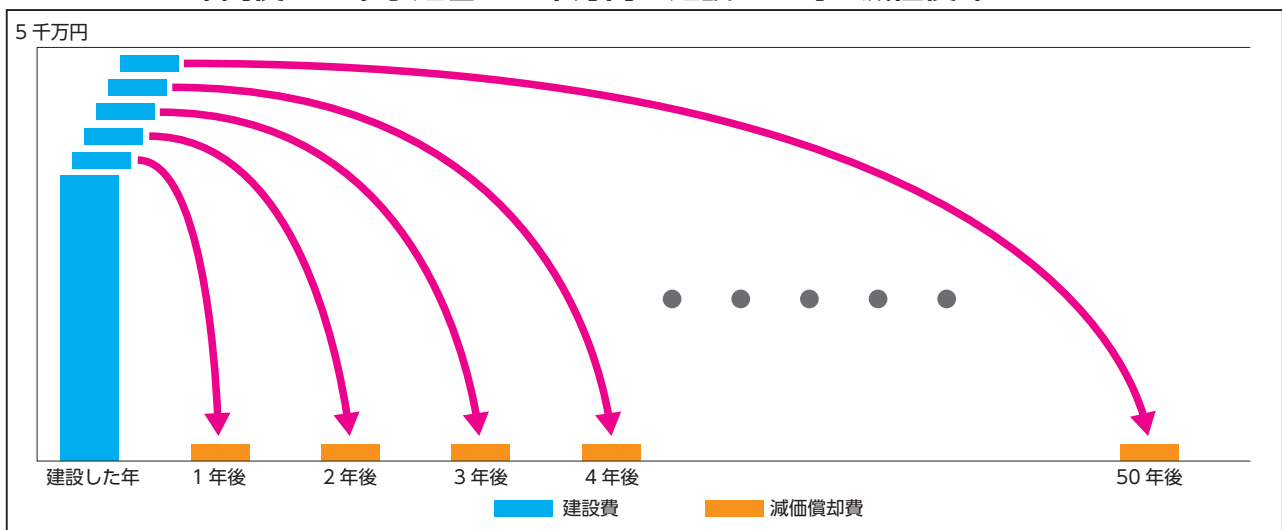


そうだね、言葉で説明するのがとっても難しいから、次のページで図で説明するね！！



減価償却費のイメージを見てみよう！

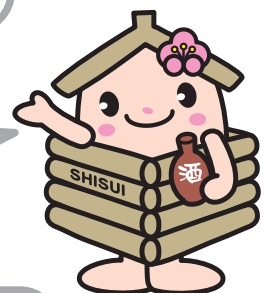
50年間使える下水道管を5千万円で建設した時の減価償却のイメージ



建設費5千万円を、下水道管をえる年数の50年で割った100万円が毎年の減価償却費になっていることがわかるね！！長期前受金戻入も、「支出」か「収入」だけの違いで考え方は同じだよ！！

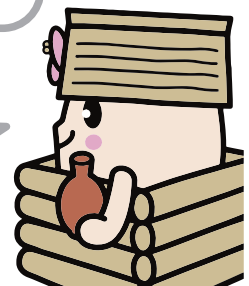


う〜ん…。やっぱり難しいけど、なんとなく分かったわ。
でもこれが、「資本的収入ー資本的支出」の赤字とどんな関係があるの？



また少し難しい話になってしまうけど、「減価償却費」はその年にお金が使われていない費用なんだ。
上の図で言うと、建設した年に5千万円は支払い済みだから、1年後以降の100万円はお金が出て行ってないんだ。だから、損益計算書の損益を考えた時には、下水道使用料等の収入から減価償却費を引いたけど、実際には、その分のお金が手元に残っているんだよ。

「減価償却費」は、むかし支払った「建設費」のうちの今年度分を計上してるだけだから、実際には現金の支払いは無いんだね！！
だからこのお金は、「資本的収入ー資本的支出」の赤字を埋めるのに使えるってことかな？



その通り！！
逆に「長期前受金戻入」は、むかし貰った「補助金」のうちの今年度分を計上しているだけだから、お金の動きを考えるとときには引かなきゃいけないんだ！！

まとめ



ここまでの話をまとめよう！！

「資本的収入－資本的支出」の赤字額は約1億1500万円。

損益計算書上の純損失（赤字額）は約5400万円。

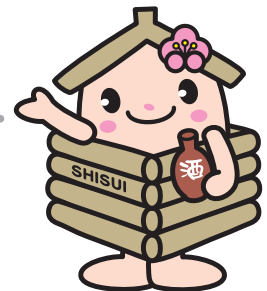
損益計算書で支出としたけど使えるお金（減価償却費分）は約2億4000万円。

損益計算書で収入としたけど使えないお金（長期前受金戻入分）は約4400万円。

全て足し引きすると下の計算式のようなになるよ！！

資本的収入－資本的支出		－ 114,751,357 円
損益計算書上の純損失（赤字額）	＋	(－ 54,065,836) 円
減価償却費	＋	240,818,363 円
長期前受金戻入分	－	44,065,162 円
		27,936,008 円

今年は約2,800万円のプラスってこと？



そうだね。今年は2,800万円ほど使えるお金が増えたんだ。

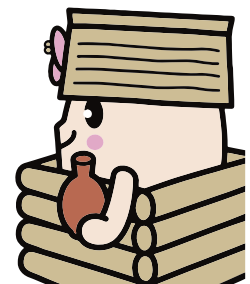
このお金は「留保資金」と呼ばれているよ。

「留保資金」は今後の建設費や、赤字が出たときの補填に使えるお金になるんだよ！

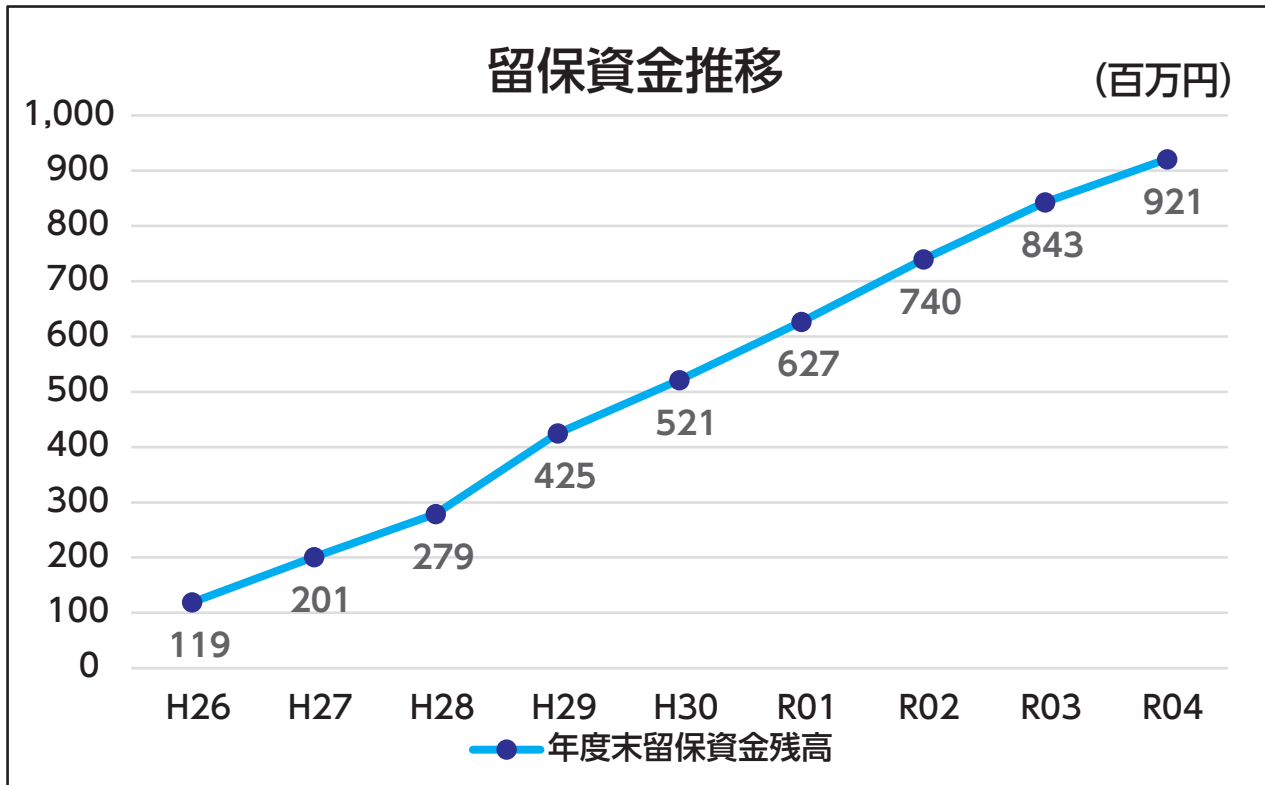
そうなんだ！

損益計算書で赤字だから黒字だからというわけじゃなくて、資本的収入と資本的支出の結果も見ないといけないんだね！！

ところで「留保資金」って今どれくらいあるのかな？

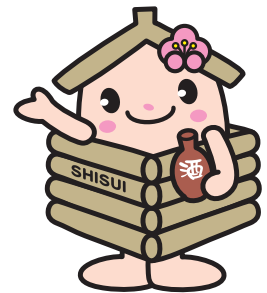


3 留保資金の推移を見てみよう！



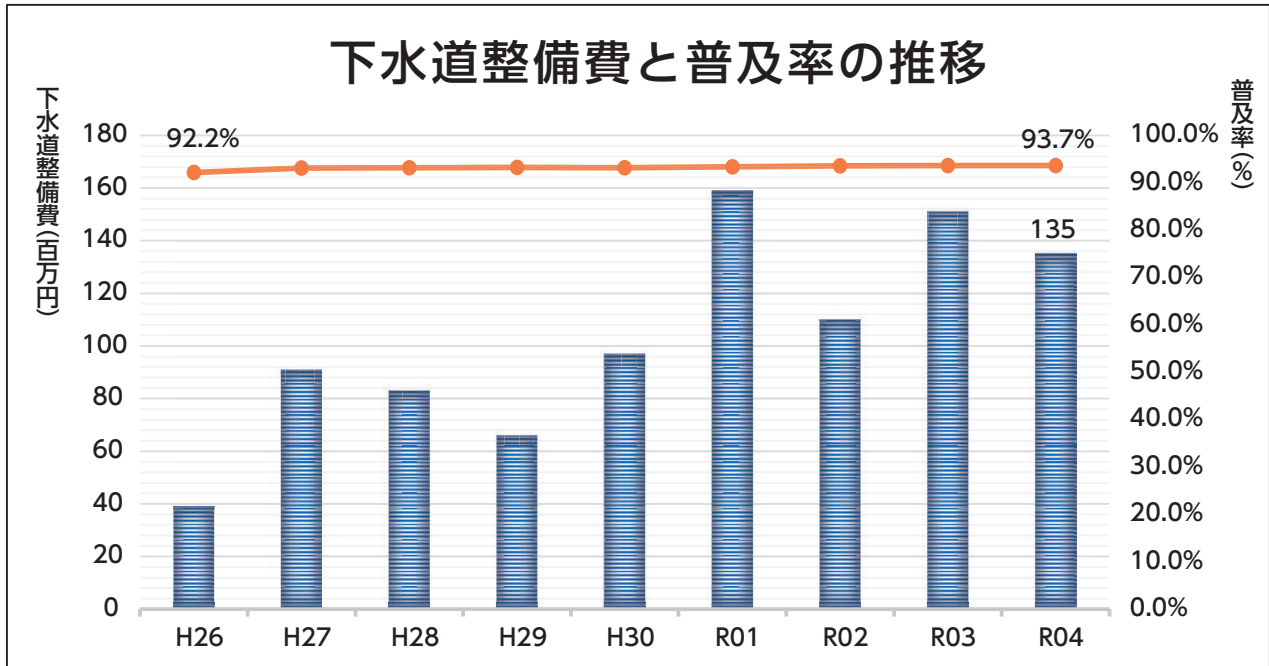
平成 26 年から企業会計制度を導入したから、それ以降しか分からないんだけど、企業会計を導入する前は、現金の出入りだけを見て、足りない分は一般会計から（税金）補填されていたんだ。

今は 9 億円ぐらい「留保資金」があるんだね！
これが多いのか少ないのか、イメージつかないな～。



「留保資金」は今後の建設費や赤字が出た時の補填に使えるお金ってさっき言ったけど、まさに下水道事業はこれからたくさんの建設費が必要な状況なんだ！
下水道事業が置かれている状況を見てみよう！

4 下水道事業が置かれている状況を見てみよう！

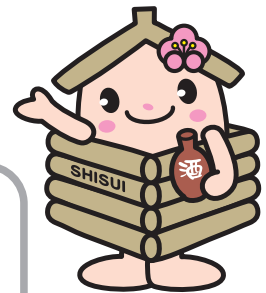


酒々井町の下水道事業は、昭和から平成にかけて急速に普及しているんだ。今は町内の93%以上の人に使ってもらってるよ！そして今では、約100kmもの下水道管や19箇所のポンプ施設（うち3箇所は中継ポンプ）があるんだ。施設は作って終わりじゃなくて、古いまま放置していると下水道管が潰れて道路が陥没してしまうような事故につながってしまうから改築や更新が必要なんだ。一気に作った施設が、今後一気に古くなっちゃうからこれからはたくさんのお金が必要になるんだ。それに将来人口も減っていくと言われてるよね。使う人が減ってしまうと、それだけ下水道使用料の収入も減っちゃうんだ。

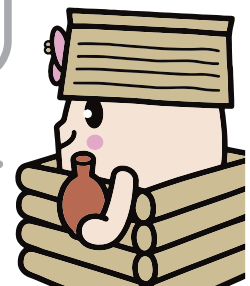
これから、どんどん施設の更新が必要になるんだね！



だから、長期的な視点に立って将来を見据える必要があるんだ！
下水道事業はみんなの生活になくてはならない重要なものだから、ずっと続けていくために、酒々井町下水道事業経営戦略を令和3年度に策定したよ！
これから長期的な視点に立った効率的な改築更新を実行していくために酒々井町公共下水道ストックマネジメント計画を策定している最中なんだ。
そして将来の留保資金残高がどうなるかを見て、手遅れになる前に手が打てるようにしていくよ！！



施設が古くなったのに、お金がないからって新しくできないと困っちゃうんだね。そのためにお金がたくさん必要になるのね。ずっと下水道事業が続けられるようにみんなで考えていかなきゃね！



5 財務三表を読み解こう！

令和4年度酒々井町下水道事業損益計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

1 営業収益			
(1) 下水道使用料	253,930,217		
(2) その他営業収益	429,819	254,360,036 (ア)	
2 営業費用			
(1) 管路費	7,340,477		
(2) ポンプ場費	7,585,497		
(3) 流域下水道維持管理費	132,888,802		
(4) 業務費	12,665,823		
(5) 総係費	10,475,503		
(6) 減価償却費	240,818,363	411,774,465 (イ)	
			157,414,429 (ウ) = (ア) - (イ)
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当	0		
(2) 他会計補助金	50,959,438		
(3) 長期前受金戻入	44,065,162		
(4) 雑収入	17,790,707	112,815,307 (工)	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び借入企業債取扱諸費	9,466,714	9,466,714 (オ)	103,348,593 (カ) = (工) - (オ)
			54,065,836 (キ) = (ウ) - (カ)
5 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	0	0 (ケ)	0 (ク) = (ウ) - (ケ)
			54,065,836 (ク) = (キ) - (ク)
			439,067,415
			493,133,251

【図解】損益計算書（決算書 P16）

損益計算書は、ある一定期間における企業の経営成績を明らかにするために、その期間中に得たすべての収益、これに対応するすべての費用、最終的な損益を記載する報告書です。

★損益計算書から分かること

損益計算書からは、どのような経営活動によって、どれだけの経営成績を上げたかを知り、それに基づいて過去の経営を分析し、また、将来の方針を立てることができます。

★注目ポイント

①営業損失

本業による損益が分かる！
下水道事業の本業は、汚水をきれいにすることと雨水を排水することです。そのための費用や、みなさんからいただいた下水道使用料や、雨水を排水するための費用に対する一般会計からの繰入金等の主たる営業活動の結果を示しています。

②経営利益

経営活動から生じた損益が分かる！
本業に関する損益に加えて、一般会計からの繰入金による収入のうち営業外収益としたものや、借入金利息の支払い等の資金調達等に関する損益の結果を示しています。

③当年度純利益

最終的な損益が分かる！
1年間のすべての損益の結果を示しています。

3つの方法で損益を把握します
損益 = 収益 - 費用

プラスなら利益が出ている！
マイナスなら損失が出ている…



【図解】貸借対照表（決算書 P18～19）

貸借対照表は、年度末時点に企業が所有しているすべての資産、負債及び資本を表示する報告書です。

★貸借対照表から分かること

表の左側【資産の部】からは、企業が事業を行うために所有している資産の残高を知ることができます。表の右側【負債の部】及び【資本の部】からは、資産を取得するためにどのように資金を集めたかを知ることができます。

資産は、性質によって「固定資産」と「流動資産」に分かれています。区分の仕方は、1年間のうちに現金化できるものを「流動資産」、できないものを「固定資産」としています。

★注意ポイント

①流動比率(%)＝ $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 = 585.6\%$ (365.0%) (前年度)

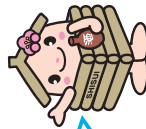
すぐに支払わなければならないお金（流動負債）を、すぐに支払えるか（現金等の流動資産がどれくらいあるか）を表します。

200%以上が理想的で、指標が高いほど経営が安定していると言えます。

②有形固定資産減価償却率(%)＝ $\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産}} \times 100 = 28.8\%$ (26.0%)

有形固定資産の減価償却がどの程度進んでいるか（その資産をどれくらいの期間使っているか）を表します。

指標が高いほど資産の老朽化度合いが高いと言えます。



こういう指標を昨年度の指標や他の団体と比べることで、現在の経営状況を把握することができますよね！

令和4年度酒々井町下水道事業貸借対照表 (令和5年3月31日)

＜資産の部＞		＜負債の部＞	
(単位：円)		(単位：円)	
1 固定資産	47,810,802	3 固定負債	501,662,181
(1)有形固定資産	6,154,594,086	(1)企業借入金	26,000,000
イ土地	△1,817,230,001	(2)他会計借入金	527,662,181
ロ構築物	109,282,414	4 流動負債	53,097,803
ハ機械及び装置	△62,981,601	(1)企業借入金	37,152,783
ニ車両運搬具	1,564,543	(2)未払当引	418,000
ホ工具器具及び備品	△844,851	流動負債合計	90,698,586
ヘ建設仮勘定	320,532	5 繰延収益	1,862,967,000
有形固定資産合計	△72,119	(1)長期前受金	1,862,967,000
(2)無形固定資産	216,489,375	(2)長期前受金	△383,979,114
イ施設利用権	4,648,933,180	繰延収益合計	1,478,987,886
減価償却累計額	1,082,101,273	負債合計	2,097,348,653
減価償却累計額	△24,858,900	6 資本	4,659,562,762
口電話加入権	771,400	(1)自己資本	46,095,000
無形固定資産合計	1,058,013,773	(2)一般会計出資金	4,705,657,762
(3)投資その他の資産	86,728,704	資本合計	4,705,657,762
イ下水道事業基金	86,728,704	7 剰余金	14,933,266
投資その他の資産合計	5,793,675,657	(1)剰余金	14,933,266
固定資産合計	455,628,743	(2)欠損	493,133,251
2 流動資産	75,502,030	イ当年度未処理欠損金	△493,133,251
(1)現金預金	531,130,773	欠損金合計	△478,199,985
(2)未収金	6,324,806,430	剰余金合計	4,227,457,777
流動資産合計	6,324,806,430	資本合計	6,324,806,430
資産合計		負債・資本合計	

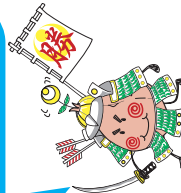
負債は、企業債（借金）に代表されるように、他者に返さなければならぬ（支払義務がある）お金です。



繰延収益は、資産の取得（下水道管渠の建設等）の際にもらった補助金等、返す必要のないお金です。



資本は、資本金や事業で獲得してきた利益等、返す必要のないお金です。



「お金の集め方」！！
企業が資産を獲得するためのお金を、「どうやって」集めたかがわかります。

「お金の使い道」！！
集めたお金が、「どのような状態」で「どれだけ」あるかがわかります。

【図解】 キャッシュ・フロー計算書 (決算書 P22)

令和4年度酒々井町下水道事業会計キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

キャッシュ・フロー計算書は、対象年度中の現金の増減とその理由を表す報告書です。

★キャッシュ・フロー計算書から分かること

損益計算書、貸借対照表からは読み取りにくい、「1年間の現金の流れ」をその理由と合わせて知ることができます。

★注目ポイント

① **現金を増やすことはできたか？**
 まずは現金が増えているか、減っているかを確認します。
 その後で各キャッシュ・フローを見ると、なぜそうなったのか？を知ることができます。

② **「業務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスか？**
 下水道事業を続けるためには、本来の営業活動で得たお金（下水道使用料）で、汚水をきれいにするための負担や汚水を流すための下水道管の維持管理・更新をしていかなければなりません。そのためには、「業務活動によるキャッシュ・フロー」は必ずプラスにならないければなりません。

③ **「投資活動によるキャッシュ・フロー」はどれくらいマイナスか？**
 現在、多くの下水道施設が更新期を迎えており、多額の更新費用を必要としています。施設の更新すれば「投資活動によるキャッシュ・フロー」は必ずマイナスとなりますが、その規模はどれくらいかが重要です。

④ **「財務活動によるキャッシュ・フロー」はプラスかマイナスか？**
 下水道事業では、下水道使用料で稼いだ資金に加えて、お金を借りることで下水道施設の更新を行っています。「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入と返済による資金の増減を表しており、借入れた金額よりも返す金額が多ければマイナスに、借入れた金額が返す金額よりも多ければプラスになります。

令和4年度のキャッシュ・フロー計算書からは、本来の営業活動で●円のお金を得て、施設の更新等で●円、借入金の返済に●円使ったから、結果としてお金が●円増えたことが分かるんだね！

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

(単位：円)

当年度純利益	△ 54,065,836
減価償却費	240,818,363
長期前受金戻入額	△ 44,065,162
受取利息及び受取配当金	0
支払利息	9,466,714
未収金の増減額 (△は増加)	△ 19,168,660
未払金の増減額 (△は減少)	△ 16,192,217
小計	116,793,202

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	0
投資その他の資産の取得による支出	△ 9,466,714
国庫補助金等による収入	107,326,488

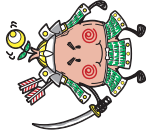
3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	△ 127,478,411
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	0
国庫補助金等による収入	16,405,000
受益者負担金及び分担金による収入	3,166,500
特定収入見合い消費税による調整	△ 5,053,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 112,959,954

資金増加額 (又は減少額)

資金増加額 (又は減少額)	△ 28,894,912
資金期首残高	484,523,655
資金期末残高	455,628,743

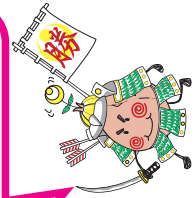
「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、下水道事業本来の営業活動で資金を稼いでいるかを表しています。

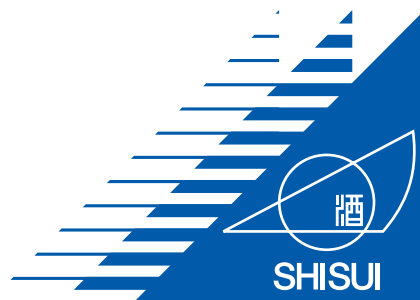


「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、下水道施設の更新等、設備投資にどれだけ資金を使ったかを表しています。



「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入と返済のどちらを多くしたかを表しています。





酒々井町上下水道課